

Y09a 「LLP 京都虹光房」：神山天文台における人材育成の新しい試み

河北秀世、池田優二、藤代尚文、中道晶香、吉川智裕 (LLP 京都虹光房)

私達は、京都産業大学・神山天文台において装置開発を重視した教育や種々の天文普及事業を推進する一方、技術力や教育に関するスキルを持つだけでなく経営者としての視点を持った人材の育成を目指し、2010年10月に「LLP(有限責任事業組合) 京都虹光房」を設立した。

近年、天文学コミュニティでは技術的素養を持った次世代の人材が不足しており、そうした人材を育成することの重要性は認められているものの、彼ら彼女らが実社会で活躍するためキャリア教育については十分に手当てされているとは言いがたい。このような状況は技術系の人材だけでなく、天文教育普及関連の人材などについても同様である。オーバードクターやポスドクの就職問題とも関連して、彼ら彼女らが自らのスキルを生かして起業することも想定した実践的キャリア教育の場が必要であると考え、私達はLLPを設立した。LLPでは構成員全てが経営者としての立場をとることになり、各人に経営者としての視点を持つことを強制する。すなわち、一種の教育プログラムであると考えている。私達のLLPは構成員として会社経営の経験者を含んでいる一方、全くの未経験者も含まれており、当面は神山天文台スタッフ自身の教育というところからスタートした。

LLP 京都虹光房では、(1) 光学設計および光学関連機器の開発、(2) 機器制御ソフトの開発、(3) 天文観測データおよび物理実験データなどの解析と手法の開発、(4) 科学教材および科学教育プログラムの開発、(5) 天文学に関連する著作および講演活動、といった業務を行っている。初期メンバーは神山天文台スタッフが中心となっているが、将来的にはさらにポスドクや学生たちを構成員として迎え、自身の将来を自ら切り開ける人材を育成してゆきたい。本講演では、LLPの設立趣旨および現状、将来構想について述べる。